

発行：ひたちなか市の環境を良くする会
会長 小川 和 昭
編集：広報委員会
監修：ひたちなか市環境政策課
TEL：029-273-0111（内 3314）

環境から版

30th

市誕生 30 周年記念イベント

消費生活＋ハーモニー展

11月2、3日ひたちなか市総合運動公園で「産業交流フェア」と同時に、「消費生活＋ハーモニー展」が総合体育館で開催されました。

本会も「消費生活＋ハーモニー展」に参加し、会の活動を紹介するパネル展示、啓発活動ポスターを掲示し、竹の工作教室を開きました。



会のブース

段ボールコンポストの紹介コーナーでは、実物見本を展示し説明を行いました。多くの方が関心を示され、「やってみたい」と話される方もいて、翌年3月の講習会への参加を希望されていました。

パネル展示コーナーでは、「緑のカーテン」普及活動を10年継続して行ってきたパネルを展示し、写真を見ながら「これは我が家です」と話す来場者もいました。



緑のカーテンパネル

森林保全活動で間伐した竹の有効利用として、工作教室で竹の万華鏡作り、ブンブンゴマ作りを行い、作った作品をプレゼントしました。



万華鏡作り

また、竹のおもちゃコーナーでは、竹ぽっくり、クラブスなどを紹介しました。

竹の花器、竹炭・竹酢液を希望者にプレゼントし、市内で焼いた竹炭に関心を持つ方も多く、森林保全活動へ参加してみたいという声も聞かれました。

ふぁみりこらぼまつり

10月27日ふぁみりこらぼで開催された「ふぁみりこらぼまつり」に参加し、会の活動を紹介するパネル展示、来場者向けに工作教室を開きました。

工作教室では、竹筒を利用した万華鏡作りを行い、参加者は、完成した万華鏡を覗き込み、色々な模様の変化に感嘆の声をあげていました。また、竹製のブンブンゴマ作りも行い、ブンブン音を立てて回転するのを楽しんでいました。



万華鏡作り

ステージ発表では、本会の団体会員「ワンネス・エコ・ひたちなか」により、紫外線や電磁波などへの注意喚起や、日常生活で工夫しながら節電することと呼びかける環境劇「白雪姫のりんご」が上演されました。

多くの来場者が、身近なテーマに興味を示し、熱心に観ていました。



環境劇

プラスチックごみ

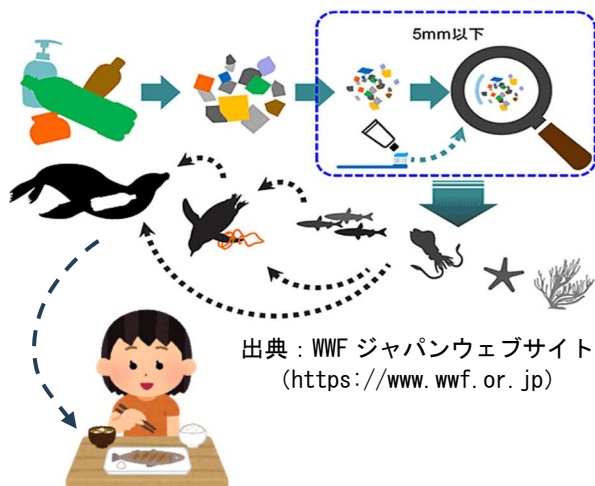
環境への影響

プラスチックごみは、不適切な使用や廃棄により、地球温暖化・資源枯渇・海洋汚染などを引き起こし、地球環境に悪影響を与えています。

プラスチックは、レジ袋、ペットボトル、電気製品、おもちゃなどの多くの製品に使用されています。

ポイ捨てや不当投棄などにより放置されたプラスチックごみは、数百年以上も分解されずに自然界に残ります。

捨てられたペットボトルやレジ袋などのプラスチックごみは、河川などを通して海に流れ出て、劣化により5ミリ以下になった小さなプラスチックは、マイクロプラスチックと呼ばれる、海洋汚染につながります。



出典：WWF ジャパンウェブサイト
(<https://www.wwf.or.jp>)

海中に浮遊しているプラスチックを小魚が食べ、更に大きな魚が小魚を食べ、食物連鎖より魚の体内にプラスチックがたまりまます。その魚を人が食べることで、人の体内にも取り込まれる恐れがあります。

このような海洋汚染を改善するには、プラスチック類の使用を減らし、使い捨てやポイ捨てをやめてリユースを行い、分別回収しリサイクルすることが大切です。

私たちができること！

「捨てればごみ、分ければ資源」と言われています。プラスチックを分別して資源として生かし、リサイクルを推進することです。

★マイボトルの利用

外出時にマイボトルを利用し、ペットボトル飲料の購入を減らします。

パリオリンピックでは、使い捨てプラスチックは使用禁止、ペットボトルは持ち込み禁止で、選手もスタッフも水筒を渡され、給水所を利用していました。ローマ市内にも無料給水所があり、市民の行列ができています。

ヨーロッパでは、SDGs への意識が高く、具体策が講じられている好例です。

★買物にはエコバッグを利用

レジ袋をやめてマイバッグを利用し、なるべくプラスチック包装されていない商品を選びましょう。

★化学繊維・マイクロビーズに注意

フリースなどの化学繊維の衣類を洗濯した場合やスポンジタワシを使用した時に、摩擦・摩耗によりマイクロビーズが発生します。マイクロビーズは微細なため、使用後に水に流せば下水処理施設で除去することができず、海に流れて海洋プラスチックになります。

★使い捨て食器を使わない

使い捨てのプラスチックスプーンやフォークの代わりに、マイ箸やマイスプーンなどを使いましょう。

★落ちているプラスチックを拾う

街や海岸などに捨てられているごみを拾いましょう。

ひたちなか市は、太平洋に接しており、世界の海につながっています。私たちの家庭から世界の海に、マイクロプラスチックを排出しないように、生活を見直し、できることから取り組んでみましょう！



環境省では、プラスチックごみの削減に向けて「Plastics Smart（プラスチック・スマート）」キャンペーンを実施しています。

↑キャンペーンのロゴマーク

わがまちの環境活動

株式会社 日立ビルシステム

生産技術部 梅田

日立グループでは2030年までに自国の陸域・海域の30%以上を保全・保護しようとする国際的な目標「30x30」に賛同し、取り組みを進めています。日立ビルシステムでは水戸事業所が生物多様性の保全が図られている区域である「自然共生サイト」として環境省から認定されました。

水戸事業所では、事業所の全敷地の約20%にあたる97,800㎡におよぶ緑地帯を有しています。サギ山地区と呼ぶ緑地帯は、高木林がまとまって維持・管理されている一方で、都市域にも関わらず外来種の侵入が少なく、ハヤブサなどの希少な生物が確認され、多様な健全な生態系が維持されています。



サギ山とG1 TOWER

那珂湊漁港

宝物拾い



10月7日那珂湊漁港で宝物（ごみ）拾い活動に、事業所会員・工機ホールディングス（株）から参加があり、6名で行いました。

漁港周辺の道路脇、海岸の堤防の内側、空き地には、多くの宝物が捨てられていました。発泡スチロールの切れ端、ペットボトル、空き缶などがあり、レジ袋などに入れて捨てられたごみは、袋がボロボロに劣化し散乱し、プラスチックによる海洋汚染にならないように、宝物拾いを行いました。草むらの中には、大きな宝物（粗大ごみ）が捨てられていました。拾った宝物は、燃やせるごみ36kg



大きな宝物・ガラス戸



一つ残さず宝物拾い



拾った宝物



竹で作ったトングも活躍

燃やせないごみ5kg、他に粗大ごみがありました。



参加の皆さん



宝物！拾えば 拾った分 地球はキレイになる！

廃棄物削減

段ボールコンポスト



ひたちなか市は、廃棄物の減量・削減に向けて、市職員により、次の啓発活動を行っています。

★「3R兄弟」は、3Rの推進。

★ごみ減量啓発バンド「N DUST REAL」は、不法投棄の防止、生ごみ処理容器の普及。

★「3切りマン」は、水切り、食べ切り、使い切り、フードロスの削減。

現在、市のごみ処理経費は、年間10億4～5千万円で、1日に換算すると約285万円になります。

市指定の緑・黄色のごみ袋の代金も処理経費に含まれていますが、それは全体の15%程度で残りの85%は市民が収めた税金です。

家庭から出る燃やせるごみに含まれる生ごみは、多くの自治体で約40%を占めており、段ボールコンポストを利用して生ごみを自家処理すれば、ごみ処理経費の削減になります。

段ボール箱に生ごみと基材（ピートモス・もみ殻燐炭）を混ぜておくと、基材に含まれる微生物の働きで、生ごみを発酵させて分解し、悪臭の発生もなく堆肥が作られます。

出来た堆肥は、家庭菜園・花壇などの肥料として利用できます。

段ボールコンポスト講習会

7月24日ふあみりこらぼで、本会と市で共催し「段ボールコンポスト講習会」を、市民14名の参加で開催しました。段ボールコンポストに必要な基材などは、市で用意して配布しました。

次回は、来年3月に開催予定です。身近にできるSDG's、段ボールコンポストによる生ごみの自家処理にチャレンジしてみませんか！



講習会の様子

なま 生ごみは いき 生ごみ
意気込みで リサイクル！



休耕地有効活用

ソバ・ジャガイモ栽培

市内美田多町の地主さんの協力を得て、休耕地でソバ・ジャガイモ栽培を行っています。

8月17日ソバの種まき作業を14名で行いました。

前日と当日の作業初めに雨が降り、土が重くなっていったので、種まき後の土被せは一苦労でした。



土被せ



ソバの花

9月8日1回目の除草作業と、ジャガイモの植付け作業を行いました。ソバは、湿害に弱く種まき後に雨の日が多かったので発芽が心配でしたが、例年通りに成長し、2回目の除草作業を行った28日には、白い花が満開になりました。

一方、雑草も成長する過程で温室効果ガス（CO₂）を吸収し、地球温暖化防止に貢献していました。

ソバは、種まき後、約2か月半で収穫時期を迎え、11月4日に、刈取り・収穫作業を12名で行いました。

刈取ったソバは、オダ棚に立て掛けて乾燥させた後、11月9日に、脱穀作業を、棒で叩いたり、会員手作りの



ソバの刈取り



オダ棚に立掛け乾燥



千歯扱きで脱穀



叩き棒で脱穀

の千歯扱き4台を使用して14名で行い終了しました。

11月17日篩掛け、唐簀掛けを行い、収穫作業が終了しました。

森林保全活動

10月19日美田多町風致地区の竹林で保全活動を5名で行いました。

竹は成長が早く、間伐して数年が経過すると繁茂状態になるので、定期的に保全が必要になり、チェーンソーで間伐し、間伐した竹を切断し枝葉を落とし、竹の本体は、リヤカーで運び出しました。



間伐竹の切断



リヤカーで運び出し



花器



竹ぽっくり

間伐した竹の有効利用として、6月に開催されたキャンドルナイトのイベント会場で、竹のキャンドル立てに明かりを灯し文字を描きました。また、竹ぽっくり、ブンゴマ、竹筒による万華鏡、花器、トング（3面参照）などを作り利用しています。他にも竹炭・竹酢液を作る材料として提供しています。



キャンドルナイト

~~~~~

ひたちなか市の環境を良くする会 事業所会員の紹介

~~~~~

木質バイオマス発電所 (株) バイオパワー勝田 ひたちなか市高野 1974-1 TEL029-270-3341	はなのお幼稚園 Hanano O Kindergarten ひたちなか市高野 1974-1 TEL029-270-3341	私たちは、 美しい地球を次の世代へ！ のスローガンのもと、一丸となって地球環境の継続的改善と環境汚染予防活動を推進しています。 徳日立製作所水戸事業所	廃棄物の中間処理施設 KATSUTA 株式会社 カツタ ひたちなか市高野1968-2 TEL (029) 270-3711代 http://www.eco-katsuta.com/	社会福祉法人 新世会 いきい苑	ガーデン・エクステリアのデザイン・施工 Maki planning http://www.maki-planning.com/ プロが選ぶガーデン雑貨の専門店 Mam's garden http://www.makipla.com/
リコーインダストリー(株) 勝田事業所 インクジェットヘッド ドットライブラインプリンタ ひたちなか市武田1060 www.industry.rioh.co.jp	KOMATSU コマツ 茨城工場 ひたちなか市長砂 163-46 http://www.komatsu.co.jp/	マルハニチロシーフーズ株式会社 ひたちなか市和田町3丁目13400番地2	HiKOKI 工機ホールディングス(株)	ひたちなか・東海 ハイトラスト株式会社 ひたちなか市新光町103-2 TEL (029) 265-5371	人と自然への思いやりを大切に 勝田環境 KATSUTA KANKYO